

くすり一口メモ

嚥下機能を向上させる薬剤と誤嚥しにくい服薬方法

嚥下障害とは、疾病や老化などの原因により飲食物の咀嚼や飲み込みが困難になる障害です。嚥下障害により誤嚥性肺炎を引き起こし、致命的になることもあります。今回は嚥下機能を向上させる薬剤と誤嚥しにくい服薬方法についてまとめてみました。

1. 嚥下機能を向上させる薬剤

脳梗塞などで大脳基底核が障害を受けると、この部位にある黒質線状体から産生されるドパミンが減少し、サブスタンスP量を減少させ、咳反射・嚥下反射が低下してきます。このメカニズムとは反対に嚥下機能を向上させる薬剤は、脳内のドパミン濃度や、サブスタンスPの濃度を上昇させることで咳・嚥下反射を引き起こし、誤嚥を予防すると考えられています。

その代表的な薬剤がACE（アンジオテンシン変換酵素）阻害薬です。ACE阻害薬はアンジオテンシン から への変換を阻害するのみではなく、カリクレイン - キニン系においてブラジキニンやサブスタンスPの分解を阻害することで咳反射・嚥下反射を亢進させ、不顕性誤嚥および誤嚥性肺炎を予防することが知られています。またモサプリドクエン酸塩（ガスモチン）は胃排出促進作用により胃食道逆流を予防し、胃瘻患者の肺炎発症率を低下させます。胃瘻造設患者で誤嚥性肺炎を繰り返すような患者に投与すると効果的です。ただし、これらの薬剤を誤嚥性肺炎予防の目的として投与しても、保険適応にはなりません。下記に嚥下機能を向上させる薬剤をまとめましたので参考にしてください。

2. 誤嚥しにくい服薬方法

以下の方法が摂食・嚥下障害患者に安全と考えられている服薬方法です。

嚥下食またはとろみをつけたもの、半固形物などの食物と一緒に内服する。

服薬補助ゼリーと一緒に内服する。

とろみをつけた水分、お茶で内服する。

簡易懸濁法で溶かしてから、とろみをつけて内服する。

3. 嚥下機能を向上させる薬剤一覧

薬品名	薬の作用
ACE阻害薬	サブスタンスPの分解を抑制して、サブスタンスPの濃度を上昇させることで咳反射・嚥下反射を亢進し、不顕性誤嚥および誤嚥性肺炎を予防する。
アマンタジン	ドパミンの放出促進作用、再取り込み抑制作用、合成促進作用により、ドパミンの濃度を上昇させ、サブスタンスPを増加させ、肺炎を予防する。
レボドパ	血中ドパミン濃度の上昇により、サブスタンスPの濃度を上昇させる。
カブサイシン	知覚神経末端に作用してサブスタンスPを放出させることにより、サブスタンスPの濃度を上昇させる。
ガスモチン	胃食道逆流を抑えて、胃瘻患者の肺炎発症率を低下させ、生存率を延長する。
エリスロマイシン	胃食道逆流を減少させて、夜間誤嚥を予防する。
プレタール	脳卒中既往患者の肺炎発症率を低下させる。
半夏厚朴湯	口腔内のサブスタンスPを増加させることにより、嚥下反射を改善する。

参考資料 薬局 (2010 Vol.61, No3)
(鹿児島市医師会病院薬剤部 新上香奈子)